

COLLEGE NEWS

カレッジ・ニュース



令和3年 11月 14日 発行
神奈川県立総合教育センター
かながわティーチャーズカレッジ事務局
(教育人材育成課キャリア開発班)

令和3年8月22日、「かながわティーチャーズカレッジ」が開講されました。教員を目指す皆さんを応援するため、平成20年に始まったカレッジも、今年で14年目を迎えます。今年度はオープンコース115名、チャレンジコース126名（小学校95名、特別支援学校15名、中学校英語又は高等学校英語16名）、合わせて241名の受講者が、約8か月間教職を目指す仲間とともに切磋琢磨しながら、教員の仕事についての理解を深め、神奈川県の特徴を学んでいきます。

開講式・第1回かながわ教育学講座

開講式及び第1回かながわ教育学講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインで行われました。開講式では、

神奈川県教育委員会 桐谷教育長より、受講者に向けてビデオメッセージが送られました。

また、カレッジ長である、神奈川県立総合教育センター 田中所長の講話では、教員という仕事の魅力と、教員として子どもたちと接するにあたっての心構えや大切なことなどについて、伝えられました。

《教育長のメッセージより（概要）》



「教育には、変化が激しく予測が難しい時代を生き抜く力を子どもたちに育成することが求められており、教育現場が多くの課題を抱えているということは、教育にはそれだけ大きな使命があるということである。厳しい現実もある教育現場において、教員を目指す受講者の皆さんには、カレッジでの学びを通して、教育課題への理解を深め、解決する力を身に付けるとともに、教員として働くことの意義を見出してもらいたい。」

《カレッジ長の講話より（概要）》



「定型化・画一化された「良い教師」というものは存在しない。教員は、それぞれの持ち味を生かし、個性を伸ばしていくことが必要であり、教員同士がお互いの個性を尊重しながら、チームとして協力していくことも大切である。また、子どもたちの持ち味・個性を大切にする教育を実践することが重要であり、どれだけ裏切られたとしても、生徒を憎まずに許すこと、生徒を信じるからこそ、教員としてもっとも根源的な力といえる。」

受講者の感想

○生徒を信じる力が大切だという話、とても素敵な話だと思いました。

私も高校時代に、私のことを信じて応援してくれた先生がいたからこそ、最後まで諦めないで高校を卒業することができました。次は私がそんな教師になれるようにがんばります！

○多様性が求められている社会の中で、学校でも様々な個性を認めてあげるとするのがとても良いなと思いました。しっかりと個性を認めてあげられるように、その子の得意なことなど個性を見つけることから頑張っていきたいと思いました。